

社会人基礎試験に関するアンケート結果報告

○ 本年度(平成 25 年度)から、職務経験者を対象とする「社会人基礎試験」を提供。ご利用いただいた 62 団体へアンケートを実施。

★ 職務基礎力試験については、多くの団体が**適当である**との回答。

「試験の難易度」 82.5% (33 団体/40 団体)

「解答時間」 92.5% (37 団体/40 団体)

「分野構成」 97.4% (37 団体/38 団体)

★ 職務適応性検査については

「検査結果」が面接試験時に「役に立った」 86.8%

(33 団体/38 団体)

☆ 「社会人基礎試験」とは

社会人からの人材発掘を狙いに、本年度（平成 25 年度）から提供を始めた新しいタイプの試験です。（25 年度は、6 月 30 日(日)と 9 月 22 日(日)に提供しました。）

この「社会人基礎試験」は、

- ① 職務を遂行する上で必要となる基本的な知的能力を検証する「職務基礎力試験」
- ② 職務経験者対象の職務、職場への適応性を検証する「職務適応性検査」

の 2 つがセットになった試験です。

「職務基礎力試験」は得点化されますが、「職務適応性検査」では、結果を分析して、各受験者の性格傾向の特徴を図と言葉により簡潔に表示し、また、面接の際の留意点、質問例、特記事項も表示して提供しています。

☆ アンケートの実施

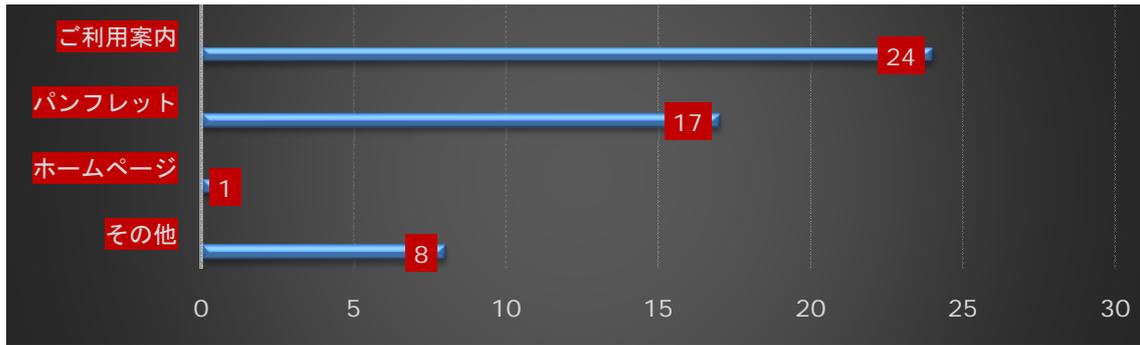
初年度にあたり、「社会人基礎試験」をご利用いただいた 62 団体へアンケートを実施し、42 団体からご回答をいただきました。その結果につきまして紹介させていただきます。

社会人基礎試験の実施団体数（62） アンケート回答団体数（42）

[回答結果]

- 1 当センターの社会人基礎試験の提供を知ったきっかけについて

《社会人採用試験を知った媒体》



その他（8）の内訳：取りまとめ団体6、市役所1、その他1

2 社会人基礎試験を選択された理由について

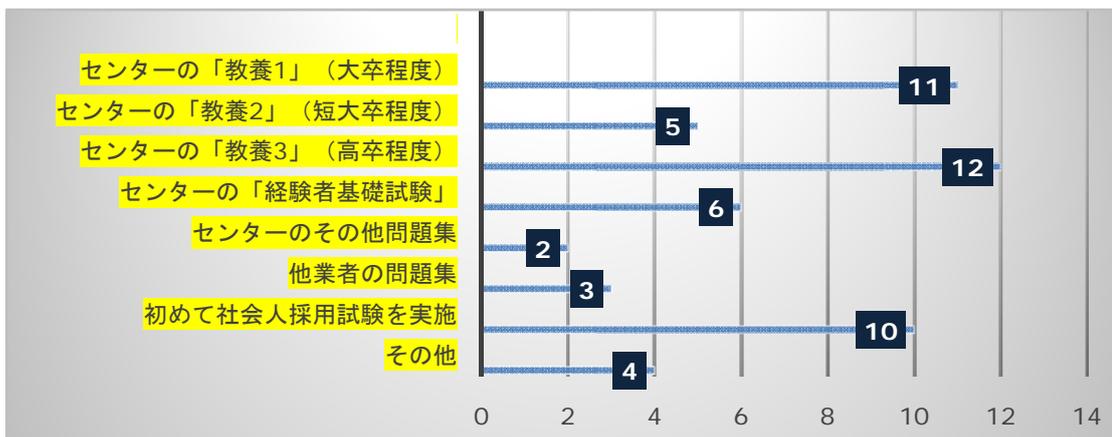
《社会人基礎試験をご利用いただいた主な理由》

- ・ 就労している人が受験しやすいよう、時事問題や知能問題に重点を置いた社会人基礎試験を選択した
- ・ 必要最低限の基礎学力、知識、知能を確認したいから
- ・ 公務員としての適性を見たいから
- ・ 適応性検査に興味があったから
- ・ 教養試験を実施していたが、新卒と社会人経験者では求められるスキルに違いがあるため
- ・ 従来の教養試験では社会人にとって難しいと考えたから

3 社会人基礎試験のご利用前に使用されていた問題集について

以前から社会人採用試験を実施していた31の団体は、当センターの「教養試験」、「経験者採用試験」等のほか、他の業者の問題集を利用していました。また、10団体は、新たに本年度から社会人採用試験を始めました。

《社会人採用試験を利用する前に使っていた問題集》



4 職務基礎力試験について

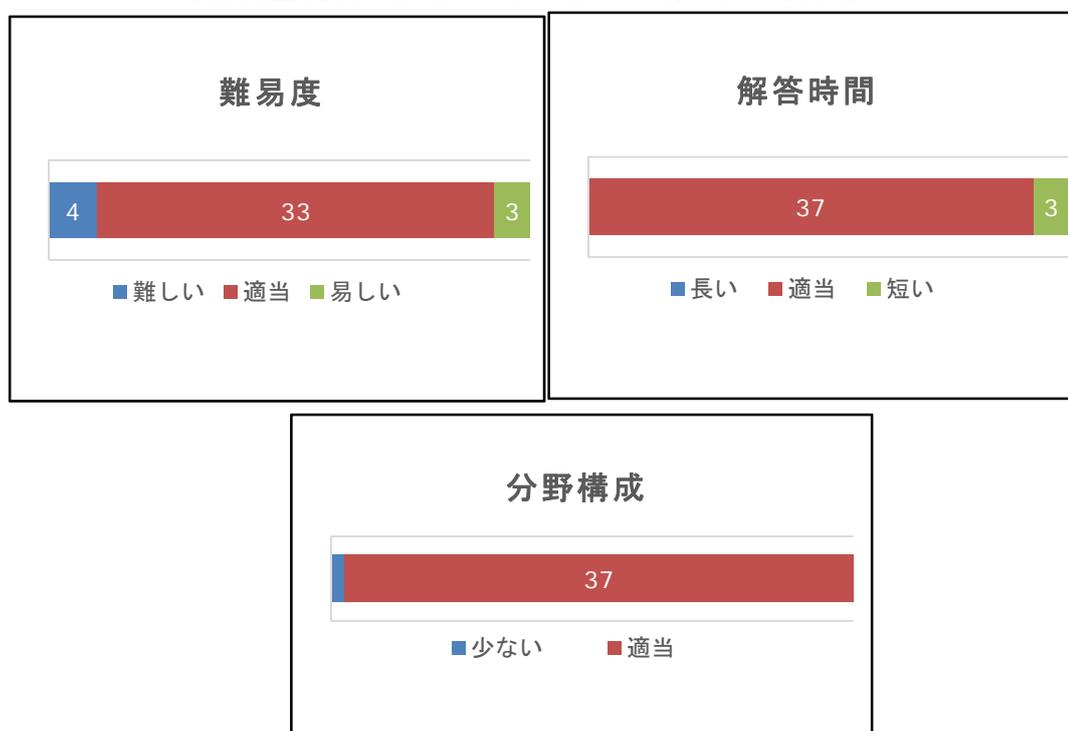
職務基礎力試験の内容

- ・ 大卒程度、高卒程度などのレベルを想定せず、受験者（社会人）が現在の職場・職務で身に付けた能力で臨むことが可能な試験として設計しています。
- ・ 四肢択一式の問題75題を90分で解答する試験で、「経験者基礎試験」よりも題数は多く、解答時間は短くなっています。
- ・ また、「社会的関心と理解について問う分野」、「言語的な能力を問う分野」、「論理的な思考力を問う分野」の3分野をほぼ均等に出题し、平均点が高くなるよう難易度を易しく設定しています。

難易度、解答時間、分野構成については、多くのご利用団体から適当であるとの回答をいただきましたが、難易度については「難しい」と回答された団体が4団体、「易しい」とされた団体が3団体、解答時間については、「短い」と回答された団体が3団体ありました。

また、社会人を対象とする試験として適当か否かについては、「適当」と回答された団体が34団体、「不満」された団体が4件団体ありました。

《職務基礎能力試験に対するご利用団体の評価》



《社会人を対象とする試験として「**適当**」と回答された34団体の主なご意見》

- ・レベルが適切である
- ・時事問題が多い
- ・受験のための準備を必要としない問題構成である
- ・年齢に関係なく解答可能な問題である
- ・時事問題や年齢に関係のない論理的思考を問う問題で構成されている

《「**不満**」とされた4団体の主なご意見》

<改善すべき点>

- ・易しすぎるためもう少し難しくしても良いのではないか
- ・もう少し時事問題や資料解釈を増やしても良いのではないか
- ・専門職の採用に利用したが、内容が事務職向けだと感じた

5 職務適応性検査について

職務適応性検査の内容

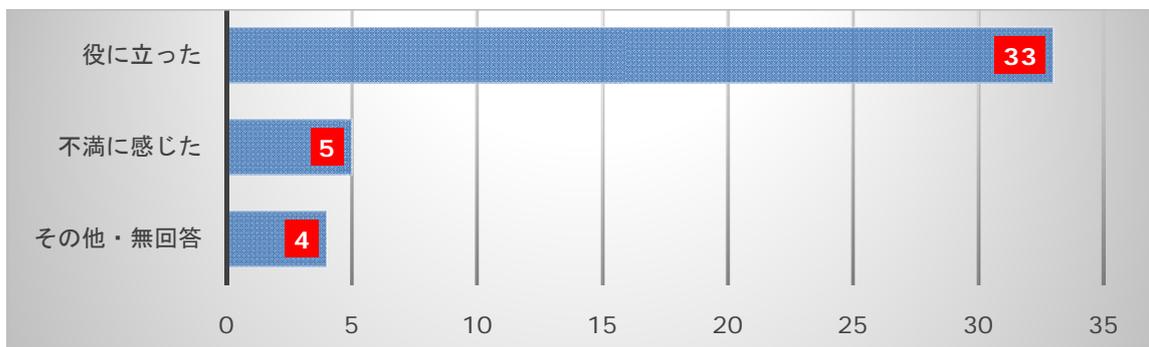
- ・ 「職務適応性検査」は、社会人の職務・職場への適応性を性格傾向の面から検証して、面接や採用に当たって必要な情報を提供することを目的とした試験です。
- ・ 個人別に、検査を結果分析して、各受験者の性格傾向の特徴を図と言葉により簡潔に表示し、また面接の留意点、面接の質問例、特記事項も表示して提供しています。

【分析結果の表示例】

	低い	普通	高い
積極性		○	
共感性	*		
柔軟性			○
自我強度	*		

(上図では「低い」又は「高い」の判定を「*」で表示しています。)

検査結果（分析結果表）については、多くのご利用団体から「役に立った」との回答をいただきました。一方、「不満である」の中には、「もう少し詳細な分析結果を必要とする」などのご意見もありました



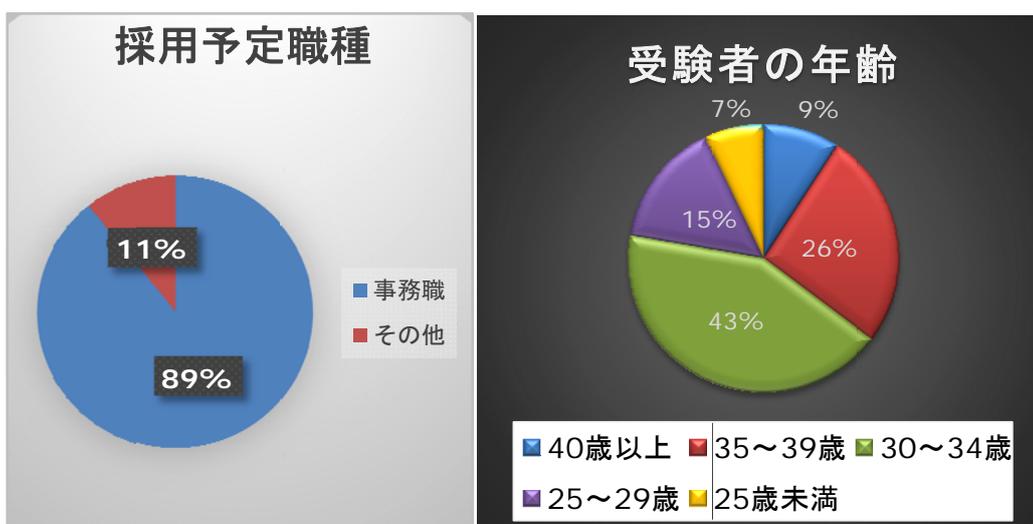
《「役に立った」と回答された33団体からの主なご意見》

- ・分析結果は当たっているようだった
- ・面接のポイントや質問例が参考になり、効率的な面接ができた
- ・受験者の性格傾向を少なからず把握できた

《「不満を感じた」と回答された5団体からの主なご意見》

- ・もう少し細かい分析があればいいと感じた

6 ご利用いただいた採用試験の実施状況について



※ 「その他」は土木、保育士、情報事務、文化財専門員などの採用や任用替えにご利用